

# 古市パワーアップ通信

第十七号 二〇一二年六月二五日  
編集・発行 古市パワーアップ事業推進委員会



「第二寿会のニュース」を  
「パワーアップ通信」として発行します。

「パワーアップ通信」も、昨年一〇月に一六号を発行して以来お休み状態になっていましたが、編集に当たって来た吉竹が、今回第二寿会の会長を務めさせて頂くことになりましたし、古市の場合、寿会々員が元気でなければ古市のパワーアップも図れませんから、今回は第二寿会のニュースを掲載して発行します。

〜寿会第二回囲碁ボール大会について〜

## ◆◆応援を兼ねて練習にお出で下さい◆◆

先に、寿会の皆様には回覧により昨年度に引き続き、第二回目の「囲碁ボール大会」を開催することはお知らせしました。今回は二回目ですからもっと大勢の参加希望者があるのではないかと考えていましたが、蓋を開けてみると各町で五人の選手を揃えるのが精一杯の様子でした。

その原因としては、四町対抗の試合として行うとした事により尻込みされたのではないかと推察しています。次回からはこの様な点も検討しなければならぬと思っています。

何はともあれ、今回は当初の計画通り、下記の方達によって四町対抗で実施し、試合終了後、来年に向けて、みんなで練習して頂く時間を一時間程度とりたいと思っていますから、会員は勿論、会員以外の方も是非応援を兼ねて練習に公民館へお出で下さい。お待ちしております。

とき 六月二七日〔月〕  
午後一時三〇分試合開始  
午後三時頃〜 練習  
場所 公民館大広間



昨年の大会風景

上之町	中之町	下之町	横町
小林宏次	梅崎昭二	村上みはる	山中粒子
岡本幸子	梅崎美代子	今北真司	後藤辰夫
市嶋綱子	村上正	今北多津代	藤田美枝子
市嶋弘昭	藤田勝	原勝也	菅野宣子
藤田喜美子	増井宏安	横山健治	酒井哲

民生・児童委員をさせて頂いておりました際に、当時発行していただきました「民児協だより」で何度か呼びかけをしましたが、「火災警報器」設置の猶予期間が終わり、今年、六月一日からすべての住宅に「火災警報器」を設置しなければならなくなりました。皆様のお宅では警報器の設置はお済みですか。「火災警報器」は、万一火災が発生した際に、煙や熱を感知して火災の発生を知らせてくれる装置です。

つい先日も、住宅火災によって亡くなられた方があったと言う報道がありました。火災発生を少しでも早く知って、逃げ出せは助かっていた事例も多い様です。

「火災警報器」の設置は、平屋の住宅では寝室と台所に、二階建ては寝室と台所に加えて二階への階段の三カ所に付けなければなりません。取り付け自体は簡単で、ねじくぎ一本で取り付けられることができ、一度取り付ければ、内蔵の電池の寿命が続く約十年間はそのままで済みます。

しかし、天井近くの、ある程度

※取り付けを希望なされる場合は、自治会のアンケートでお知らせ下さい。

## 火災警報器の設置は終わっていますか

高い所に付けなければなりませんから、ご高齢の方のお宅では、高い所での取り付け作業は無理があるかもしれません。

そこで、「安心で安全な暮らし」を保障することを目指し、自治会と協議して、「ご希望されるお宅へボランティアで取り付け作業をさせて頂く事にしました。警報器は、ご自分で購入して来て頂くか、購入も含めてボランティアでさせて頂くかはご希望に依じられるようにしたいと思います。尚、警報機の値段は一台が三千元〜四千元でホームセンターなどで購入できますから、各ご家庭で負担して頂くのは警報機代金の実費だけです。

ボランティアに当たって頂く方は、今後募集しますが、第二寿会の会員中心に、これらの事柄や作業に心得のある方達にお願いする事になっています。また、地上デジタル化が進み、七月二十四日には、今までのアナログ電波が止まってしまい、従来のテレビのままで対策がとられていないお宅は何も映らなくなります。このテレビの地上デジタル化の問題についても、ボランティアでご相談に応じます。[吉]

## ボランティアで活動して下さいませんか

昨年度の第二回の住民学習で、高齢化の現状を受けて話し合った結論として「お互いが助け合い、支え合う」事の必要性が言われましたが、とりあえず、右の様な趣旨と内容でその第一歩を踏み出そうと言うことになりました。

つきましては、この趣旨をご理解賜り、ボランティアとしてお手伝い下さいませんか。